

横浜人形の家企画展

「ひな人形展～ひなに見る上方と江戸」展開催！

会期:2012年2月4日(土)～3月25日(日)

「上方」と「江戸」を中心に異なる文化により育まれた多様なひな人形の世界を紹介します。



京都生まれの内裏雛(だいらびな)(明治時代)



江戸生まれの雛「古今雛(こきんびな)」(江戸後期)

横浜人形の家では、春の訪れと共に毎年恒例のひな人形展を開催いたします。

女の子の健やかな成長を祈って飾られるひな人形は、時代や地域ごとに様々に変化をして、今に至っています。ひな人形の展示では、年ごとに異なるテーマを設けていますが、今回は「上方」と「江戸」という異なる文化圏で育まれた人形に注目します。

例えば、三人官女は京都で好まれて、江戸では、五人囃子が好まれました。このように、公家を中心とする上方の文化、武家と奉公などを通じて影響を受けた町人が作り上げた江戸の文化の違いは、ひな人形の好みや飾り方、飾る人形の種類にも影響しています。

約90点の展示により、京都と江戸という二つの中心地が育んだ多彩なひな人形の世界を紹介いたします。

年に一度、この時期にしか展示されない、ひな人形による競演をお楽しみいただけます。

ぜひ、この機会にご取材にお越しください。

「ひな人形展～ひなに見る上方と江戸」展 開催概要

会期:2012年2月4日(土)～3月25日(日)

開館時間:9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日:毎週月曜日

入館料:おとな(高校生以上)300円/子ども(小・中学生)150円

住所:横浜市中区山下町18 電話:045-671-9361

HP:<http://yokohama-doll-museum.com/>

◆ 展覧会の見どころ

① 違いに注目

上方、江戸の顔立ちの違い、飾られる人形の傾向や飾り方の違いなどに注目します。
また、浮世絵など同時代の関連資料のパネル展示により、当時のひな祭りの様子も紹介します。



◁すっきりした顔立ち
江戸生まれの古今雛(こきんびな)



◁丸みを帯びた顔立ち
京都の有職雛(ゆうそくびな)



◁江戸を中心に行なわれた
段飾り



◁京都を中心に行なわれた
源氏杵(げんじわく)飾り



◁歌川国貞「風流古今十二月ノ内 弥生」
江戸後期、文政元年～弘化元（1825～1844）年
の江戸のひな祭りの様子を描いています。

② ひな人形の変遷

時代や地域により様々なひな人形が生まれました。



立雛(たちびな)
古いひな人形の形式



享保雛(きょうほうびな)
江戸中期より出てくる形で、町屋で飾
られました。



次郎左衛門雛(じろうざえもんびな)
京都生まれ、
武家や公家など、上流階級に好まれました。

③ ギャラリートーク

学芸員が企画展示「ひな人形展」や常設展をご案内し、展示品の特徴や背景をご説明いたします。
【開催日】2月11日(土) 11:00～、2月23日(木) 14:00～、3月10日(土) 11:00～
【参加方法】当日、2階受付にご集合ください。参加無料ですが、入館料が必要です

④ 関連イベント

横浜人形の家友の会による手作りひな人形の講習会などを開催いたします。

●友の会による「おひなさま手作り教室」

日程：2月4日(土・祝)・8日(水)・10日(金)

開始時間：各回 11:00～ (所要時間：お昼休憩をはさみ3～4時間)

講習内容：

2月4日(土) 蕊(しべ)のひな、2月8日(水) ひなさまごっこ、2月10日(金) 雅なおひなさま

材料費：2,500円

※ 各回12個まで、要申し込み(申し込み先：横浜人形の家)

●「簡単おひなさま手作り体験」

日程：3月3日(土) 100名限定、参加費無料 終了後は「折り紙おひなさま作り」

●おひな様の書割写真撮影

日程：2月25日(土)、26日(日) 3月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)